

12月1日は世界エイズデー

この機会に エイズや性感染症の検査を

日本のHIV感染者・エイズ患者報告数は増加を続けています。しかし、最近のエイズ治療の進歩は目覚ましく、エイズの発症前に治療を開始することで、普段と変わらない社会生活を送る方も増えています。早期治療は、早期発見から始まります。症状がない時期に検査を受けることが大切です。

12月1日は世界エイズデーです。エイズの正しい情報を知り、この機会に、身近なこととして考えてみませんか。検査の日程など詳しくは、新宿区ホームページでご案内しています。

【問合せ】保健予防課予防係（第2分庁舎分館1階） ☎（5273）3859へ。

新宿区保健所HIV抗体検査・性感染症検査

検査は匿名・無料・予約制です。HIV抗体検査のほか、性感染症検査（梅毒・クラミジア）も受けられます。

●夜間検査

【日時】▼検査：12月9日（木）、▼結果：16日（木）、いずれも午後6時～7時に受け付け。結果は口頭でお知らせします。

【会場】西新宿保健センター（西新宿7-5-8）

【申込み】11月25日（木）から、電話で保健予防課予防係（日本語対応のみ）へ。先着50名。

●通年検査

【日時】原則として月2回木曜日（11月は25日（木）、12月は9日（木））、午後1時～2時30分に受け付け。結果は1週間後に口頭でお知らせします。

【会場】西新宿保健センター（西新宿7-5-8）

【申込み】▼日本語対応：検査希望日の1か月前から、電話で保健予防課予防係へ。各日先着40名。▼英語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語対応：当日直接、会場へ。

外国語専用相談電話 ☎（3369）7110

【対応言語】英語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語

【相談日時】毎週木曜日午後1時～5時（タイ語は右記の通年検査実施日のみ）

東京都エイズ予防月間

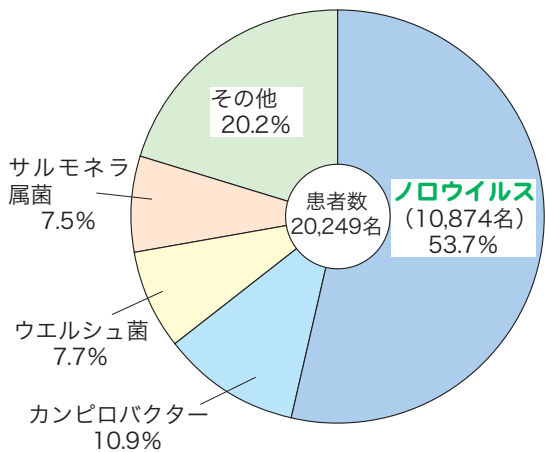
HIV抗体検査・性感染症検査

検査は匿名・無料・予約制です。HIV抗体検査のほか、左記の期間は性感染症検査（梅毒・クラミジア）も受けられます。

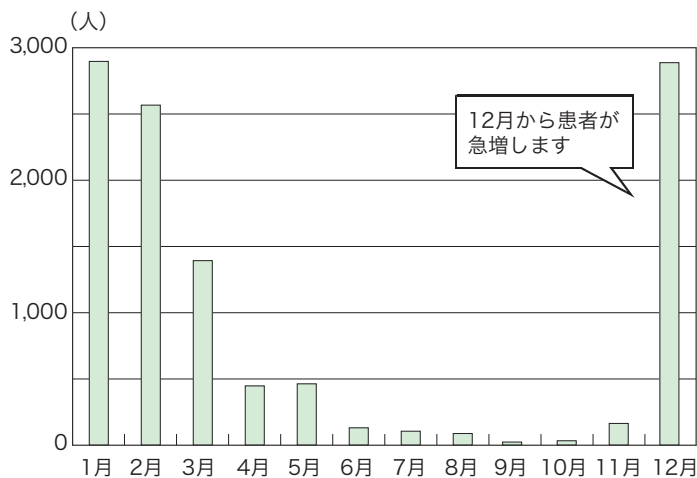
【日時】11月16日（火）～12月15日（木）、▼月～金曜日：午後3時30分～7時30分、▼土・日曜日、祝日：午後1時～4時30分

【会場・申込み】電話で東京都南新宿検査・相談室（渋谷区代々木2-7-8、東京南新宿ビル3階） ☎（3377）0811（月～金曜日は午後3時30分～7時、土・日曜日、祝日は午後1時～4時30分）へ。

病因物質別食中毒患者数（平成21年・全国）



月別ノロウイルス食中毒患者数（平成21年・全国）



ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は、家庭でも起こります。特に、ウイルスが多発する冬季は注意が必要です。ウイルスの特徴を知り、しっかり予防しましょう。

【問合せ】衛生課食品保健係（第2分庁舎3階） ☎（5273）3827へ。

ノロウイルスとは

冬季を中心に発生し、食中毒や感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。感染力が強く、ウイルスが少量でも口から体内に入ることによって感染します。ほかの微生物に比べて熱に強く、消毒用アルコールはあまり効果がありません。

今年は、区内の飲食店で9件（10月15日現在）のノロウイルス食中毒が発生しており、例年より多くなっています。

感染後、1日～2日で、吐き気・おう吐・発熱・下痢などの症状が出ます。特に子どもが発症した場合には、おう吐が多く見られます。通常3日以内に症状は治まりますが、ウイルスは、その後も1週間程度、ふん便中に排せつされます。

食中毒を予防するには

十分に手洗いを

調理の前やトイレ・おむつ交換の後、石けんでよく手を洗いましょう。

十分に加熱を

食材は、「中心温度85度で1分以上加熱」を目安に、十分に加熱しましょう。

まな板や包丁は清潔に

調理器具を使用した後は、熱湯消毒したり、塩素系の漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム消毒液）に浸して消毒しましょう。

塩素系の漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム消毒液）による消毒

調理器具・ドアノブなどの消毒には、家庭用に市販されている液体の塩素系漂白剤を水で薄めたものを使いましょう。薄める濃度は製品に表示されている使用方法を参考にしてください。おう吐物・排泄物の消毒には、調理器具等の消毒用に薄めた消毒液の5倍の濃度のものを使用してください。

食肉の生食による食中毒も増えています

生や加熱が不十分な食肉・レバーを食べることで、カンピロバクター等が原因の食中毒が起る可能性があります。カンピロバクターは鶏肉の生食（刺し身・加熱不足の焼き鳥など）が原因のことが多く、少量の菌でも食中毒が発生します。

感染すると、2日～5日で、下痢・腹痛・発熱などの症状が出ます。子どもや高齢者の方は重症化することがあるため、生や加熱が不十分な食肉類は食べないようにしましょう。

家庭内での感染を予防しましょう

家族がウイルスに感染した場合、次のことを心掛けましょう。

おう吐物の処理

処理する前に、使い捨て手袋・マスク・エプロンを着用しましょう。

おう吐物を回収したビニール袋には、塩素系の漂白剤をまんべんなく注ぎましょう。

おう吐物をふき取った場所も消毒しましょう。おう吐物の入った袋の口はしっかりと縛り、袋を二重にして捨てましょう。

掃除

多くの人が触るドアノブ・手すり・蛇口などを、塩素系の漂白剤で消毒しましょう。

お風呂

下痢をしている人の入浴は一番最後にし、入る前は体を十分に洗いましょう。

洗濯

おう吐物や排泄物がついたシーツなどは、流水で洗い、塩素系の漂白剤が熱湯で消毒しましょう。



※新宿区ホームページでは「おう吐物の処理の手順」を動画で紹介しています。